

炉跡などの土の中から見つかった微細な遺物

炉跡などの周囲で採取した土の中から見つかった微細な遺物を調べた結果、石器の材料となる黒曜石や頁岩などの小さな欠片（碎片）、植物の種子、動物や魚の骨の欠片などが見つかりました。これらの微細な遺物の内容から、炉の周囲では、黒曜石や頁岩などを打ち割って石器をつくったり、採集してきたクルミの殻を割ったり、狩りや漁でとってきた動物や魚を解体・調理したりしていたものと推測されます。

微細遺物については整理途中であるため、今後の作業の進展に伴って、新しい発見があるかもしれません。

黒曜石や頁岩の細かい欠片（碎片）



植物の種子など



ヒエ属の種子

左の写真上段の種子は 4a 層で検出した焼土粒集中 (4DB04) から、下段の種子は 4b 層で検出した炉跡 (4HE02) から見つかりました。この他に、4a 層で検出した炉跡 (4HE20) からヒエ属の種子が見つかりています。

続縄文文化初頭の H317 遺跡からはヒエ属の種子が見つかりますが、縄文文化の遺跡からは、市内ではじめての発見です。



動物や魚の骨などの欠片

